



わんにゃん新聞

Vol. 24

文責：古賀



皆さん、こんにちは！
 梅雨らしく、ムシムシした日が続いていますが
 体調崩さぬよう気をつけて下さいね。
 湿気が多く、暑くなってくると
 皮膚病も流行りだしますのでご注意を。
 今日のテーマは『シャンプー』です。

お手入れしてますか？



体を洗わずに放っておくと、被毛の汚れや皮膚の脂などが目立つようになって、**嫌なニオイの原因や、皮膚炎の原因にも**なります。

皮膚や被毛を清潔に保つためにも、定期的にシャンプーとブラッシングをしてあげましょう。

柴犬などの日本犬、コーギー、ポメラニアンなど毛が密にある子や、

プードル、長毛種など毛玉になりやすい子は毎日ブラッシングすることが理想です。

特に季節の変わり目は抜け替わりの時期で毛玉になりやすい為、

通気が悪くなり皮膚炎になることがあります。

被毛のもつれがある場合は、先にブラッシングしてからシャンプーするようにしましょう。



シャンプーはぬるま湯(30℃以下)で体全体を良く濡らし、

シャンプーをつけてしっかり泡立たせ、

10分位こすらずマッサージするように全身洗います。

そのあとは泡が残らないようにすすぎ、タオルで水気をふき取り、

ドライヤーでよく乾かします。濡れたままにしておくと、

ニオイの原因や湿ったままなので皮膚炎の原因にもなりますので

大変だと思いますが、**湿った部分がないように全身乾かしましょう。**

一般的なシャンプーの頻度としては月に1～2回が適当です。

頻繁に洗いすぎると皮膚の油分が落ちてかさつき、フケが出たりして

皮膚トラブルの原因にもなります。

皮膚病のときは獣医師の指示通りの回数とそのシャンプーで、薬浴を行ってください。

●当院オススメ薬用シャンプー●

エピスース…アトピーやアレルギーなどの痒みを止める効果があります。

香りもよく、皮膚炎など関係なく普段使いも可能です。

ノルバサン…抗細菌作用があり、殺菌効果をもちます。

マラセブ…抗真菌作用(細菌及び真菌)があり、マラセチア、細菌に対して効果があります。

西川動物病院
0940-43-0200



http://www.on-vet.com/